

ネット局制作担当者評価レポート(3)

上田ケーブルビジョン 山 越 英 夫

10月からの約半年間にわたり放送した市民大学講座であるが当社では昭和60年7月からスタートしたミッドバンドサービスの一環として放送したものである。

近年学習意欲はあらゆる分野にわたって年々増えつつあるのだが時間的制約等によって接する機会（学習機会）がとれないというのが現状である。自分に合わせた時間にくり返しできれば……………。

そんな悩みを解決する為UCVの放送体制では、ミッドバンドサービスの中の専門放送の一つとしてとり入れ毎週金曜日に設定し1週1講義にし、放送は朝9時から夜半までのリピートで行なったのである。したがって受講生の都合に合わせて視聴する事ができ、さらに反復して視聴することも可能なので効果的な学習ができたように思われる。結果的にかなりの人が学習の機会を得られたであろう。

受講生の数はテキストの関係もあり50人弱というところであるがテレビの放送視聴だけの人もテーマによってはかなりあったものと思われる。又その受講生の大部分は主婦であったようだ。

とりあげられたテーマも文化、ニューメディア、民俗等幅広い分野にわたっているのだが、中でも好評であったのは（受講生に聞いたところによると）「幼児教育」の関係のもの、ニューメディア時代と騒がれているのを反映してか「パソコン通信」などの現代の社会にマッチしたものなどである。ニューメディアに関していえば、我々の実生活の中にどうかかわり、生活がどのように変わっていくのかなどもう少し具体的にシリーズを組んでも良かったのではないだろうか。

全体的にみて感じられる事は、かたさもありなじみにくい面もあったように思われる。又もう少し具体例を多くとり入れ一般に親しみのもてる展開にした方が良かったのではないだろうか。（市民大学講座だけに難しいかもしれない

が)

しかし受講生にとっては大変に意義深くより一層向学心に燃えたものと思う。
又テレビというものへの接し方もある面で変わったのではないだろうか。